

# 調査・研修等計画届出書

令和元年5月14日

瀬戸市議会議長 長江秀幸様

議員名伊藤 賢二



政務活動として、下記のとおり調査・研修等を実施いたします。

## 記

期 日	令和元年5月23日から5月23日まで（泊 日）	
調査先・研修名	自治体フェア・企業立地フェア	
会場名（会場所在地）	東京ビックサイト	
調査・研修の目的 （今回の調査・研修に係る瀬戸市・自己の現状と課題を踏まえて）	第23回自治体フェア2019 地域で創り、育み、守る～そして、活力ある地域社会へ 企業立地フェア 企業立地に関する総合展示場	
議長名の依頼	不要	依頼先（名称）
同行者名	無し	

※行程表を添付してください。

# 調査・研修等報告書

令和 元年 5 月 24 日

瀬戸市議会議長 長江 秀幸 様

議員名伊藤 賢二



政務活動として、下記のとおり調査・研修等を実施したので報告します。

記

期 日	令和元年5月23日から5月23日まで（泊 日）
調査先・研修名	自治体フェア・企業立地フェア
会場名（会場所在地）	東京ビックサイト
調査・研修の目的 （今回の調査・研修に係る瀬戸市・自己の現状と課題を踏まえて）	地域創生・まちづくり 少子化・高齢化・社会インフラ老朽化等地域が抱える問題の解決
調査先の事業の現状・課題 / 研修で学んだこと・キーワード等	
①文化資源価値化 瀬戸市の文化財資源の保存・価値化 不十分 地域で眠る有形・無形の文化資源の価値化 デジタルアーカイブ技術で ②DNP 遠隔接客支援サービス（多言語対応） 瀬戸市では、外国人観光客の対応不十分 外国語が話せない説明員も、外国人の接客可能	

調査先（主な質疑・応答内容） / 研修（受講後の感想）

文化資源活性化を進めるには有効な施策になりえると思われました。

国内外の美術館・博物館・図書館との連携も視野に入れ、鑑賞システム開発や文化資源のデータ保存、展示システムの開発もしてゆく必要を感じました。

調査・研修の成果・考察

（瀬戸市への反映・自己の能力開発への寄与等）

無人接客用タブレットと離れた場所にいる説明員をネットワークで結び、遠隔での対応が可能 瀬戸蔵・パルティセと等での外国人対応が可能ではないか。